11

レタープレス株式会社

ラベル印刷における重ね刷り技術高度化と短納期化による生産体制拡大

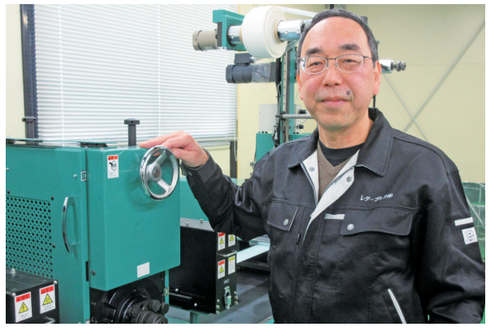
具体的な事業内容

小ロット多品種生産に対し柔軟に対応するラベル・シール印刷会社のレタープレス株式会社。近年、多様化且つ複雑化する受注に対応するため、生産性の向上と廃棄ロス削減を目的とした新たな間欠ロータリー印刷機を導入した。

会社概要

■ 社　　名　：レタープレス株式会社
■ 代表者名　：代表取締役　中田 徳昭
■ 所 在 地　：〒416-0937
　　富士市前田134－9
■ 取 材 地　：同上
■ 設立年月　：平成19年3月
■ 業　　種　：印刷業
■ 資 本 金　：5,000千円
■ Ｔ Ｅ Ｌ　：0545-30-6533
■ Ｕ Ｒ Ｌ　：http://letterpress.jpn.com/

取組みの経緯


取材に応じてくれた中田社長

要望に応えるきめ細かな対応と確かな印刷技術

レタープレス株式会社は平成19年に富士市で創業し、ラベル・シール印刷を主軸とした印刷関連製品の製造販売を営んでいる。主に自動車関連製品・食品等の印刷に対応しているほか、セミオーダー印刷や加工済印刷用紙の販売も行っている。

同業他社が利益率の低さから敬遠している小ロット多品種生産に特化することで、他社との差別化を図りつつ、取引先ニーズに愚直に対応してきた。小ロット多品種生産を可能とするため、在庫管理システムを活用し、受注の特徴を受注頻度・ロットサイズから分析するなど、きめ細かな対応とノウハウが蓄積されており、顧客からの評価は非常に高い。

ラベル印刷業界は消費者ニーズの多様化と複雑化が以前にも増して進むとともに、印刷技術の高度化、自動車業界の進展によりシール・ラベルを中心に受注が増加する傾向にある。現在の生産体制では増加していく受注を断らざるを得ない状態であることから、設備導入により生産体制の拡充を図ることとした。

取組みの内容

導入した間欠ロータリー印刷機

段取り時間の集約と印刷ロス率の削減

本事業にて、高品質な印刷はそのままに、原紙のロスなどの欠点が補われた間欠ロータリー印刷機 (シャフトレス) を新たに導入したことで、「作業効率の改善による増産体制の構築並びに短納期化」及び「作業の標準化」を実現することができた。

従来の印刷工程において、2色以上の印刷を行う製品では「段取り・巻取り」の工程が基本的に必要であったが、新たな工程では、多色刷りが可能となり、「段取り・巻取り」の工程自体が不要となったことで、印刷時間の大幅な削減に繋がった。

また、従来の1色目の印刷後に一度乾燥させ、巻取りを行った後に2色目をセットし直し、再度2色目を印刷するという印刷工程についても、新たな印刷機の導入により一度に3色までの印刷が可能となった。それにより生産リードタイムの大幅な短縮が実現された。

更には、印刷ロス率の高い部門であった段取り作業時に行われている見当見合わせ作業についても省略されたことにより、印刷ロスの大幅な低減に寄与することになった。

結果

製造されたシール・ラベル等

経営基盤の強化と地域産業貢献

今般、新たに設備導入を行った効果により、印刷工程における段取り時間の削減が図られ、生産リードタイムの大幅な短縮が実現された。従来の旧工程では所要時間として110分かかっていたものが、新工程では70分へと短縮されたことで、生産量についても1日当たり約10,000枚の生産から最大約30,000枚の生産へと大きく増加した。

また、ボトルネック工程として課題であった段取り作業時に行われる見当見合わせ作業が今回の設備導入により不要となったことで、印刷ロス率が従来の23%から12%へと大幅に改善されたことも大きい。

今後も引き続き、加工精度の高い製品づくりに邁進するとともに、生産性向上及び内製化等の強化を積極的に図ることで、企業としての基盤強化に注力していく。その上で従来通り、取引先からの受注に対し、きめ細かな対応を図る。これからも初心を忘れず、小ロット対応のできるラベル印刷サービスをリーズナブルな価格で展開していくことで、地域産業振興と発展に貢献していく。